

## 学校教育目標 「ふるさと治田」に学ぶ 心ゆたかな子ども

4月6日 **令和3年度入学式** 54名の新入生を迎えました。  
全校306名でスタートしました。



治田小学校が誕生して50年目を迎えた記念すべき年、令和3年度が始まりました。地域の皆様、保護者の皆様のお力をお借りして、全校児童306名、教職員37名が力を合わせ「**チーム治田**」一丸となって、学校づくりを進めて参ります。

感染症の危険を回避する設営のなかで、無事入学式が挙行出来ましたことをご報告申し上げます。式では、治田小学校の校歌を作詞されたまど・みちおさんの作品で、上皇后美智子様が英語に翻訳もされた「ふしぎなポケット」という歌の詩をもとに、以下のようなお話をしました。

「・・・ビスケットはふたつになるって どういうことなんだろう。なんで、どうして、という不思議を調べたり、考えたり、考え付いたりしたことを 発表したり、ああ そういうことかど わかったり、分かり合ったりするのが小学校での学習です。学習は、一人で考えるよりも、みんなで考えあうといろいろな考えが聞けて楽しいし、自分一人では気づかなかったことに気付けることも多いと思います。治田小学校で六年間学ぶということは、大勢のお友達と一緒に、頭と心と体をぐんぐんと成長させるということです。雨にも負けず、風にも負けず、しっかりと自分の足で学校に通って、自分の未来へ続く道を見つけて、前へ進んでほしいと願っています。前に進むときに一番大切なことは、自分から進んでやるということです。お家の人に言われて、先生に言われて、誰かに言われて、お勉強をするとか、仕方なく、いやいや勉強するとか、ではなく、自分から進んで、できることに挑戦して、苦手なことから逃げないで、昨日よりも少し成長した自分に、今までよりもちょっとだけ、前に進んだぞ、頑張ったぞっていう自分にしてほしいと思います。・・・」

この地の、ひと・もの・こと との出会いを通して、「大事な命」を磨き、心豊かな治田っ子の育成に努めて参りたいと思います。**令和3年度転入職員**は、小椋信一(千曲市立上山田小学校より)、土田昌子(千曲市立戸倉上山田中学校より)〔第一給食センター勤務〕の2名です。よろしくお願いたします。



**治田の子どもを守る会の皆様、登校時の見守り活動ありがとうございます**

## 交通安全指導の一環 一年生の下校指導

一学年の保護者の皆様にもご協力いただき、学校の行き帰りの道を確認し、「交通安全のきまり」の理解を促進します。「道路標識、道路標示など交通知識を身につける」「交通道徳を身につける」「道路の横断の仕方、踏切の渡り方を理解し身につける」「激しい交通にも適応して身を守る能力を身につける」など、登下校における「正しい歩行の仕方を身につける」ことが「大事な命を守る」基本となります。



一学期始業式で目標を確認しました。

令和3年度(2021)は

治田小開校 50周年。50歳おめでとう ∞ 50年ありがとう。

開校当時の関係者の願い、原点を見つめ直し、未来を見つめて、共に命を磨き続ける年に

学校は地域のものであり 地域とともに作るもの

地域の方は、地域の未来を託す子ども達に「あいさつ」ができる姿を求めています

挨拶は根底的対話の原点、相手を尊重する行為と心持ちそのもの。治田と呼べば治田と応える

私たちが毎日生活している、ふるさと治田のこと、自分の身近なこと、自分の周りのこと、身近なことでもいいです。はっとすること、知らなかったこと、考えさせられたことなど、毎日、沢山心が動かされることがあると思います。心を働かせて、大事な命を磨いていってほしいと思います。

学校教育目標

平成16年4月～

『「ふるさと治田」に学ぶ 心ゆたかな子ども』

HRT

ハ・ル・タの「ハ」はハートです。「心」。  
大事な命、心を磨いていくということ

ハ・ル・タの「ル」はルールです。「約束」。  
ルールを守って共に生活していくということ

ハ・ル・タの「タ」はタフです。たくましさ。  
最後まで粘り強くやりぬくということ。

ハート・ルール・タフ